

# カタチが見えてきた。

初めて中規模木造に取り組む設計者のために + これを着想のヒントにして高次な設計を目指す人のために

<p>① 素材 120角の4m 重ね梁 120角の4m 重ね梁 21mm厚の4m 重ね梁 120角の4m 重ね梁</p>					
<p>①材長4mの重ね梁を繋いで8mスパンのスケルトンを架構する。</p>	<p>②スケルトンの主材は、120角3段重ね長さ4mの重ね梁。</p>	<p>③120角の柱上に桁を置き、その上に登り梁を通して天秤梁を構成する。桁と登り梁の接合は渡り頭。</p>	<p>④8mスパンの両端に天秤梁を置いて対置する。二つの天秤梁には2寸勾配の高低差をつける。</p>	<p>⑤対置した天秤梁の真ん中に繋ぎの梁を落とし込み、3本の梁を繋いで片流れの連続梁を合成する。</p>	<p>⑥接合部を金物で補強して基本フレームを完成。基本フレームは、2寸勾配の片流れ。高さは水側3.4m、水上側5m。</p>
<p>⑦天秤梁のバランス特性を生かして、登り梁の接合部にかかる曲げモーメントを最小化する。</p>	<p>⑧フレームを連続させてスケルトンを構成する。開口部は最大4mまで。その間は柱を取り去り補強の重ね梁を追加する。</p>	<p>⑨スケルトンを構成する登り梁のピッチは1m。厚板合板を敷き川の字貼りで屋根構面を固める。</p>	<p>⑩連続型スケルトンの例。8×8mのスケルトンを二つ並べて切妻型のスケルトンを構成している。</p>	<p>⑪平屋と二階建てスケルトンをスタディ中のスケッチ。このスケルトンは平屋を原則とし、二階建てとする場合は添え柱による入れ子構造にする。</p>	<p>⑫自立型スケルトンの例。平屋と二階建てのスケルトンを各々独立させ、屋根の流れ方向を変えて配置している。</p>

## プロジェクトチーム大奮闘中!

七転八倒しながら、ようやくカタチらしきものが見えてきました。このところ、メールでのやり取りは激しくなっていて、一日何回も届き、朱が入られ、新案が飛び出しています。プロジェクトに課せられたテーマは、4m材の重ね梁を用いてシンプルなフレームを組み、スパン(柱間)8mなら、何にでも使える箱をつくれます。4m材を選択したのは、コストを考えてのこと。そして、この用途に応じ、その箱を繋いだり並べたりして、小さな空間から大きな空間をつくり出すシステムを提案するべく案を練っています。これを条件づけているのは、37条大臣認定を軸組で得ていること。自由で自在な架構の実現を目指します。

## どこもやっていないから開始する。

この取り組みに対する会員工務店の反応は、これまでやったことがないのでは? これは多くの工務店に共通する反応で、地域ゼネコンも、鉄骨やRCはお手のものの中規模木造となるとお手上げ状態です。つまり、地域でこれを設計できる場所は、ほとんどないのです。言い換えると、だからチャンスあります。何はともあれ、地域で手を挙げてください。全面的に設計支援の態勢を組んでいます。注文を取っていただければやれます。竣工したら、間違いなくそれが実績になります。注文をどう取るかって。友人・知人・下請会・同窓会あらゆるところに「中規模木造やれます!」と宣言し、一歩前に踏み出すことです。まずは情報をつかむために秋のセミナーへ。

特集

### 森林環境税(仮称)と森林環境譲与税(仮称)の創設

昨年末に決まった平成30年度税制改正の大綱において、森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)の創設が決まりました。森林環境譲与税(仮称)は平成31年度から自治体への譲与が開始されます。国民の皆様一人一人に森林を支えていただき、次世代に豊かな森林を引き継いでいくための仕組みであるこの森林環境税について、税創設を巡る経緯や税の仕組み・用途等について解説します。

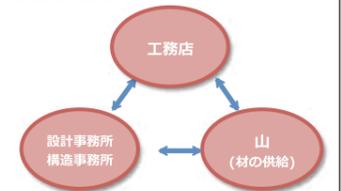
## 本プロジェクトで試みていること

### 非住宅・中規模の木造建築

- ・S造、RC造
- ・大断面集成材建築
- ・材の調達(特注)
- ・接合具(製作金物)
- ・専用の加工
- ・専用の構造計算

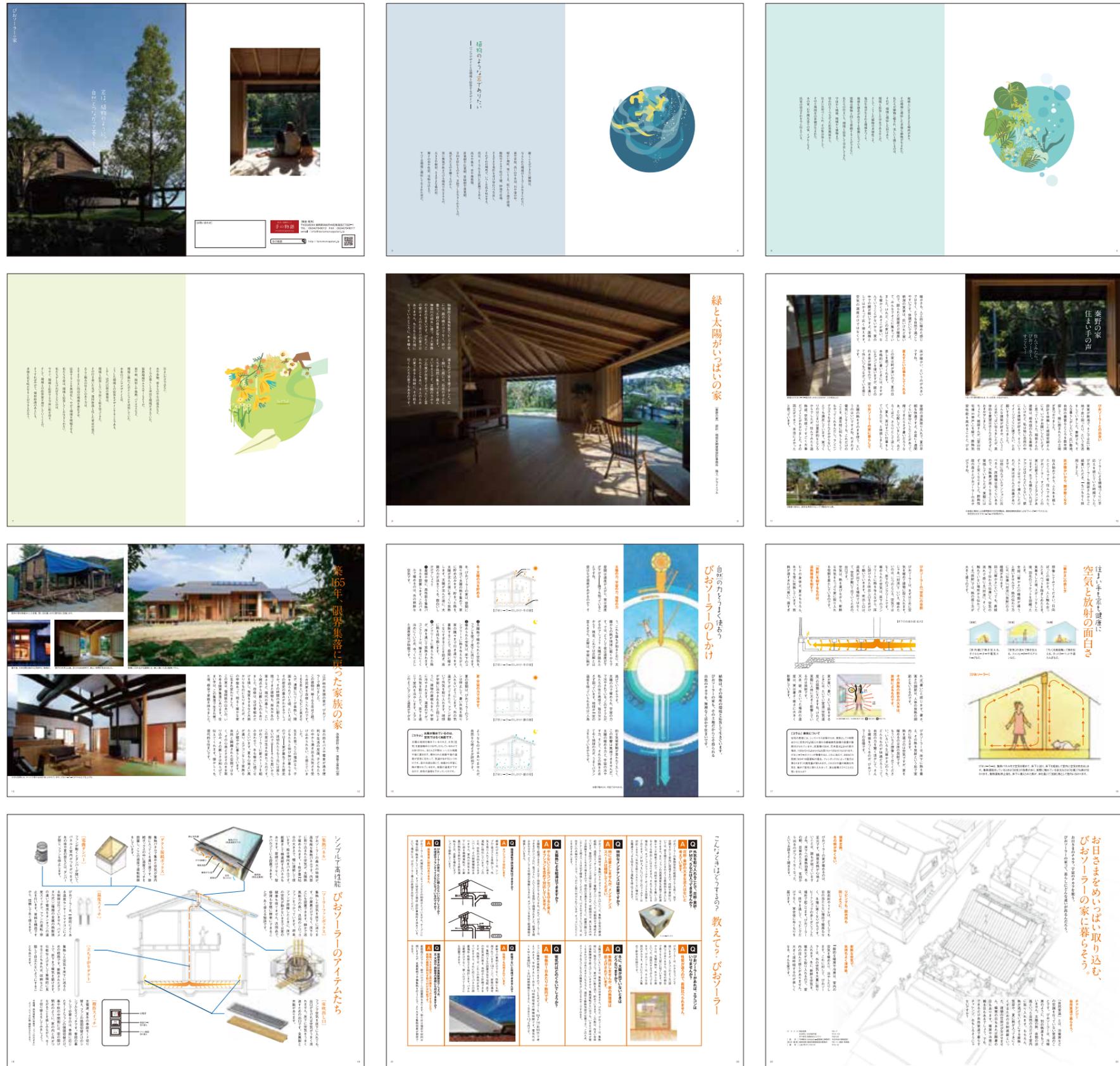
### 工務店の家づくりの延長線のできる仕組み

- ・一般流通材
- ・継手、仕口
- ・住宅用接合金物
- ・プレカット
- ・許容応力度計算
- ・設計~施工までの仕組み



マニュアル作成中  
(全20pの予定)  
Aコース参加者に  
配布します。

# びおソーラーの新パンフが刊行されます。



## 参加申し込み書

参加費 … A・B・C各7,000円/人(税込・昼食各自)

### ◆Webでのお申込み

<http://tenomonogatari.jp/eventform>

手の物語



お申込みQRコード→



### ◆FAXでのお申込み

2019年 月 日

御社名	
申込人数	人
TEL	
FAX	
住所	〒
参加者名	参加代表者 ぶりがない 男・女
	携帯電話番号 (当日ご連絡先)
	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。 (すべて、先着順となります)
	<input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学
	ぶりがない 男・女
参加者名	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。 (すべて、先着順となります)
	<input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学
	ぶりがない 男・女
参加者名	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。 (すべて、先着順となります)
	<input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学
	ぶりがない 男・女
代表者 メールアドレス	

※お申込書FAX到着後、折り返しメールにて、ご案内等ご送付させていただきます。メールアドレスを必ずご記入ください。

**FAXでのお申し込みは FAX ⇒ 053-570-9017**

お問合せ

セミナー事務局/手の物語有限公司 静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1 tel.053-570-9012